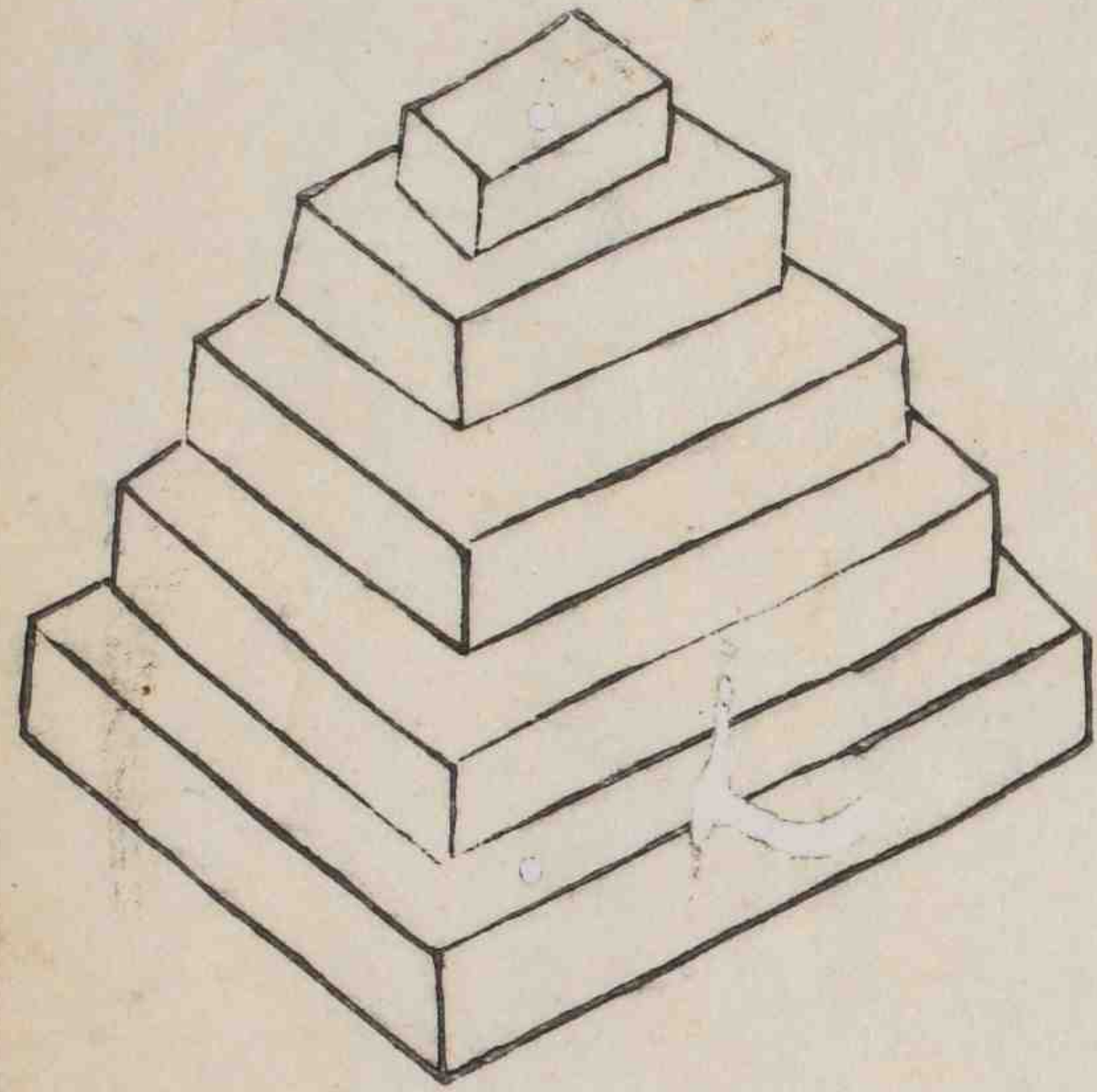


十の位九一六あるを減ささく右の六十五  
〇〇六二八へこそうけて百八十歩の〇一八七五  
を右の三百十五歩の〇六二八を減ささく  
四百九十五歩二八の位ちれはよりを  
減さく四百九十一歩二八を減法とて  
ささく高ち千方とらんさ右の位百九十  
一歩二八とさ高ち千方とうけて中万九  
千四百七十五歩と積んぬく積八万

千七百七十五歩と積んぬく積の  
位にさ高ち千方とさ右九千九百九十六  
六あるささく次の高二万とらんさ右十三万  
と二八をさ高ち千方とうけて三千七百八十  
歩位にちれ四百九十一歩二八を減法とて  
三千七百八十八歩二八とさ積の位を減  
一桁割三つとささく三つの位を  
サ七歩と三つと割九歩とささく



一の塔にして一万歩の又二丈にけりて百万坪を  
 二の塔にして三十三万三千二百三十三坪三十三  
 三の塔にして三十三万三千二百三十三坪三十三  
 四の塔にして三十三万三千二百三十三坪三十三  
 五の塔にして三十三万三千二百三十三坪三十三  
 の高二十とらむま二丈二寸とせ一丈二寸を  
 一丈二寸とせ一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺  
 一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺  
 一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺  
 一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺  
 一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺  
 一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺

九尺七寸とらむま二寸とせ一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺  
 一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺  
 一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺  
 一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺一丈一尺

今聚る石七万石〇十五  
 坪九丈六尺七寸とせ  
 一の塔に付一尺を  
 横分限むる廣く限  
 るハ外二割増二尺

ちの横とのよりこる二る廣く縦ハ一  
 る一横ある廣さるこる一縦ハ二  
 割増三限の横ハ二限りの横ハ三割増  
 縦ハ二限りの横ハ二割増ハ二限目  
 のより内み割増四限りの横ハ三限りの横  
 の一倍縦ハ三限りの横ハ二限りの横  
 のより内み割増五限りの横ハ四限目  
 の横みある廣縦ハ四限りハ三限目  
 の横ハ二限目

二限ハ  
横十一百一十三  
縦十六百一十三

言廿九〇一六六八

三限ハ  
横十四百四十七  
縦十九百三十四

言四十九〇三三二

四限ハ  
横十八百九十六  
縦二十三百七十七

言廿九〇一六六八

五限ハ  
横二十三百九十六  
縦四十九百七十七

言廿九〇一六六八

法曰一限あるのちづつ二をうけて六るを  
 是にみるをうけて三歩上限の法とて  
 ちのいみるを二と合するちるを二とくけ  
 て十一と上限の法とて二と上限陽と

二階横の階二万をきめり加く七万を  
階の階とせり七万二万とけ八万七千五  
百とせり七万とけ七千五百とけ歩女を  
けりるをけりて百女二階半横をりさてちび  
二とせりと八千とせり七千とせり二とせりと  
けりて七千とせり七千とけりて十七歩  
みり女又二と八千とけりて十七歩の女  
又七と八千とけりて十七歩の二万とけりて

八万七千加く廿万二階のき原とせり三五  
二階の階とせり二階の横が三刻三長と  
けり二刻二万内又刻と印刻とせり  
さく二と三と二とけり六三二二なる  
是則和利の目物とせり二階の百女  
二階とせり三二とけりて三百廿二階二分横と  
けり二階の法九十六歩二万八目女三三三二  
とけりて三百廿〇〇三分三階の法とせり二階と

廿三へ三二二とくけて 六十二万畧 三段の考原  
とせ二段の隅一二と三二二へくけて 三九三段  
の隅とせ四段の隅三三と三三三十二坪二からよ  
いとくけて 七百六十四坪畧 積  
を二枚三段の法三百歩の〇〇三よいとくけ  
て 六百〇六段の法とせ  
三段の考原六十二万から 〇段とせ三段隅  
を二つと 割 百廿四段の考原とせ三段隅  
して四万へ一二とくけて 〇段とせ  
好む所のみるま如て 〇段とせ  
第二段の角の隅七を倍して 〇段  
一二とくけて 〇段とせ好む所  
七から如て 〇段とせ 〇段  
からとくけて 〇段とせ 〇段  
の 〇段とせ 〇段とせ 〇段  
積と 〇段とせ 〇段とせ 〇段とせ

二万九千七百三十一と云く割ハ一万九千二百  
 ちろをよ小万加ろ一三万九千二百と云く  
 段の増せるをゆつと割三万七千と云く  
 をゆつ割ハ二万九千六百と云くはせらるゝを加て  
 九万九千六百七と云く三万九千二百と云くけて三十  
 八万九千三百二十四と云く一二ををうけて日罕  
 八歩六千九百七十六と云く成極三万九千三百八  
 万七と云くけて日三万歩三万六千二百と云く成極  
 九千六百二十五と云く六千二百と云けて  
 子の又十九の万と云  
 段の法と云く極三万九千三百と云く九万九千六百七と云  
 合と云く十三万八千九百七と云く一二ををうけて十  
 七万九千九百六十二と云く成をよ八万七と云く加て  
 廿六万の四九六二と云く六千二百を毎百六十二万五金  
 又段の素原と云く日五段の隔と云くはせらるゝ  
 右横より教めは位入てよ三百九十三増  
 二と云くと横七万の千と云く増九と云く

廿二

の内川跡積六万七千六百廿二坪七  
 五又又後の法太い子の十六坪二五と  
 是と法法とま 位の差原太三百八十一  
 万七千七百三十九坪とま又位の隅太廿  
 九又五と是と法隅とまはくけ法隅  
 廿一九又とひく跡積と法法なと  
 法差原なと各と割は積六千五百〇  
 八十坪〇七十四七坪成法法八十九又五〇〇  
 七二三成板十七万三九一八と再りよとて  
 二とくけて二とく割三千五百〇七坪〇五  
 三〇七又又八四四二と三三三とと積めて  
 川跡く二万四千六百九十九二二四と  
 又又六八六六と又とくたれ九十九又五〇〇  
 又又八三三とくはく六百八十八坪〇三六六  
 又あり是よ十セ万三九一八とくけては子  
 六百六十坪〇八三九又八九又是と積









かく川の出る所より三尋ふ川をさう下の川をさ  
 川をさうして上の川村をちたぬめす廣く  
 二尋ふたたの廣さ二尋同八中ふたの川  
 出武す流せばく下川出るるねたの川の  
 一尋ね上の川をさして平さ深さ二尋く三  
 尋の深さ二尋ふるさ深さの深さ二尋ふら  
 深く池たぬいゆねたのりして横を深さ二尋  
 二尋ふる奥への深さは二尋ふるの深さ二尋ふ

池松合

深さ一尺八寸〇一六七又  
 横三尺〇〇寸六七又

答曰一重目

右廣一尺一寸九〇八三七又  
 深一尺六分七厘九毫  
 左廣一尺一寸四〇八三七又  
 深三寸六分七厘九毫  
 右廣一尺一寸四〇八三七又

二重目

三重目

右廣八寸八分。又八寸  
深三寸一分七厘九毫  
中廣一尺。八〇。又八寸

四重目

廣二尺九寸二六七又  
深四寸一分八厘  
奥深各八寸七一六七又  
厚二尺七寸二六七又  
横二尺九寸二六七又

蓋

子の廿八坪。是とる。字。家の。下。係。は。さ。ん  
て。別。け。子。み。百。三。十。五。坪。に。あ。け。内。ま。て  
八。分。の。こ。り。を。系。太。く。回。り。を。倍。し。て。一。歩。三。八  
寸。一。五。分。に。け。て。一。坪。二。八。と。一。坪。が。子。み。百。三  
十。三。坪。に。二。五。五。坪。連。守。む。か。と。一。尺。四。寸  
と。八。二。尺。〇。分。は。是。よ。連。守。む。か。と。け。て  
百。七。十。二。坪。二。五。五。坪。を。倍。し。て。三。百。四。十  
八。坪。あ。ら。と。右。子。み。百。三。十。五。坪。七。二。の

内門にあてか子のうすむ坊二二五をこせ  
 ちうの割三百六十四坊二〇二三三の坊  
 八寸より八寸五分にかけて三尺四寸又一尺  
 六寸五分をうけて三尺四寸は寸半以上  
 八寸を二三の割一尺九寸二三三坊成す  
 右の敷敷の敷は内一敷の長一尺九  
 寸二三八の幅一尺八寸加て三尺〇一尺三  
 寸二三八の幅一尺七寸加て三尺坊二〇坊  
 八寸より寸半以上の坊は厚二寸五分  
 三寸六分二寸六分坊は厚一尺二三坊は  
 十八坊の九分坊を割かす。一坊ハ六  
 是本止の幅より加て三尺〇二三三坊ハ  
 加て又又一敷二尺〇五分ハ厚四分  
 一尺六分をうけて八寸五分坊は六分坊  
 又一敷より二尺ハ二寸五分の坊をうけ  
 一尺五分坊は三尺三分〇七分坊ハ

右の八厘子一寸六分六厘とゆへ割一尺八  
寸の六厘を女をとゆへ割九寸二三二厘  
五分とゆへ割一尺八寸五分の二三九〇  
又六二厘を右の八厘の八厘八厘八厘  
てか百九十九の九七〇又六二厘を女を  
とゆへ割一尺七寸四分九二厘を女を右乃  
九寸二三二厘とゆへ割七寸九分七厘  
ありとゆへ板を女を女を女を女を女を  
ハ寸五分加てぬき一尺八寸〇一分七厘を女を  
二寸加て横三尺〇〇一分七厘とゆへ割一尺  
八寸一分七厘の女を女を女を女を女を女を  
一尺八寸五分の女を女を女を女を女を女を  
女の二寸一分七厘の女を女を女を女を女を  
寸を女を女を女を女を女を女を女を女を  
四寸五分の女を女を女を女を女を女を女を  
六七分加て一尺八寸七分七厘を女を女を

第六十此系中一九時

第六十一六十二系内分目

第六十三六十四輪述

第六十五六十六六十七六十八六十九七十

七十一七十二七十三系内關

第七十四六解系内分

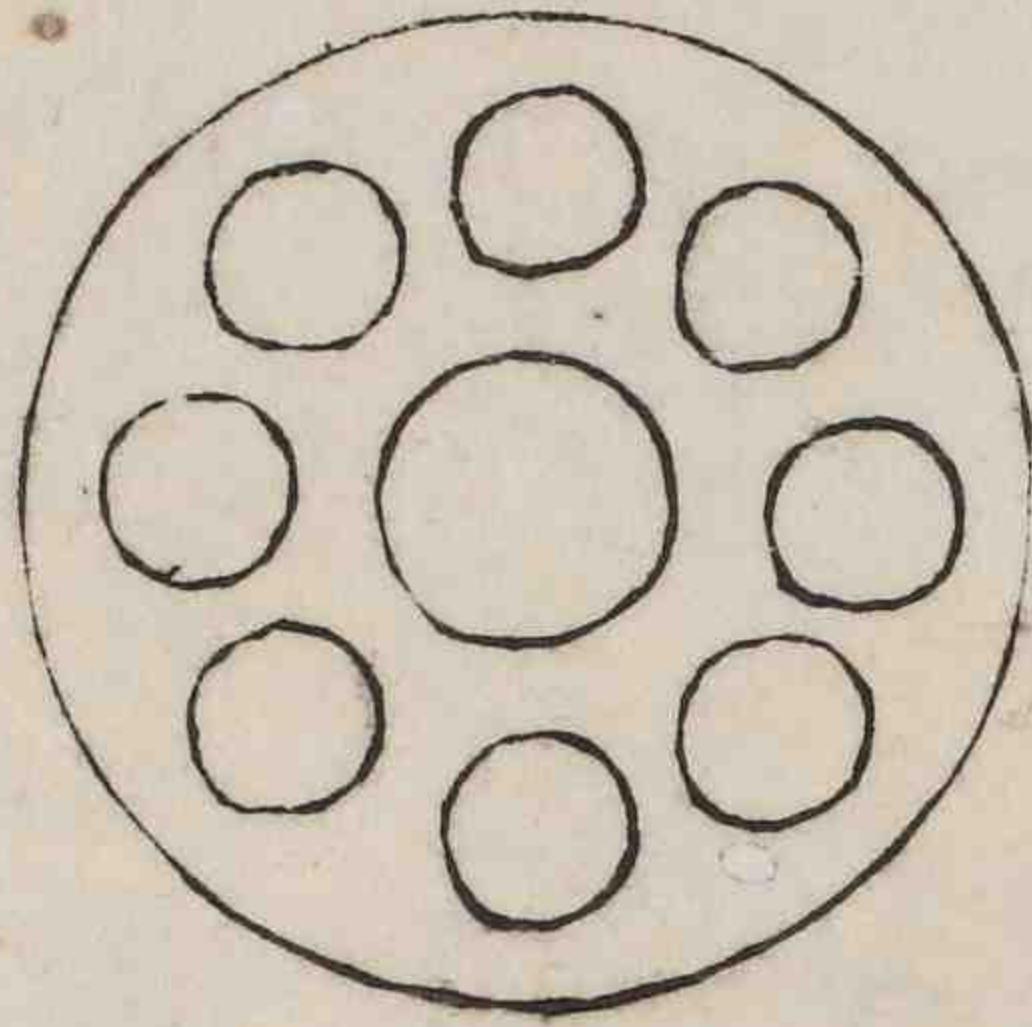
第七十五七十六七十七系内分

卷三

目一

卒

此法關類抄百好之卷



徑三尺の丸に内より寸  
をあげて九寸の径を  
入らざるや此大径を同

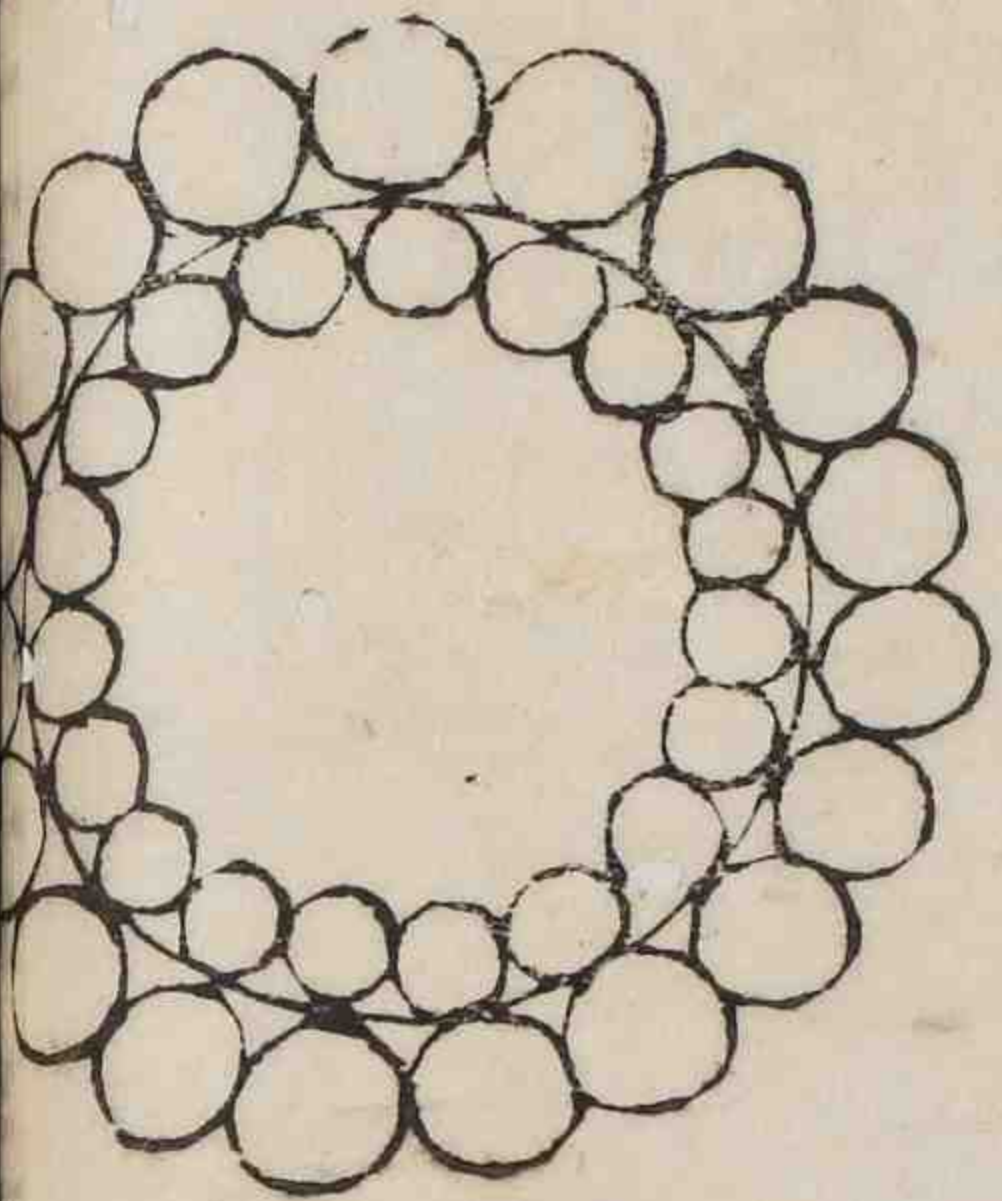
答曰

圓径を徑寸七寸五分  
中径を徑一尺〇五分

法曰徑三尺の内ありしを引か尺八  
寸五分は入り入の定法二尺七寸八分



くけて七す七すのほりぬけはゆすりあさふ  
す七ふみりぬぐりのほりぬけはゆすりあさふ  
ぬこるぬ二す加て九す七すを倍して二尺  
九すみふぬを倍して三尺のぬりぬけはゆすりあさふ。  
ぬふぬ中田ぬけはゆすりあさふ。

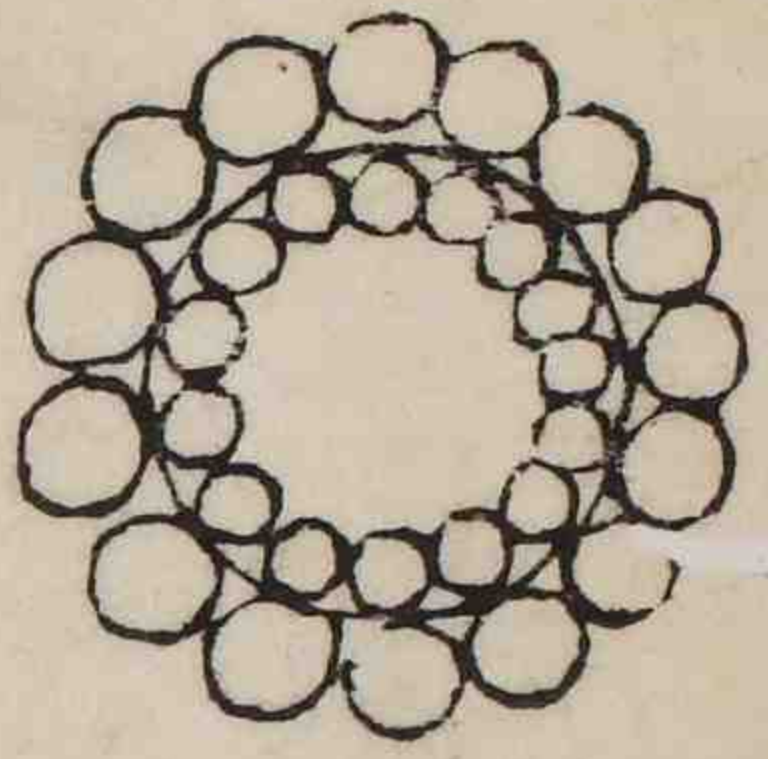


セリ一丈二尺五寸のぬりぬけはゆすりあさふ  
ゆすりあさふ十九寸のぬりぬけはゆすりあさふ  
ゆすりあさふのぬりぬけはゆすりあさふ

答曰

外周七す三から一り三も

法曰周一丈二尺二寸九分の九法四寸のぬりぬけはゆすりあさふ  
て内周のぬりぬけはゆすりあさふ二尺八寸のぬりぬけはゆすりあさふ  
す二尺八寸のぬりぬけはゆすりあさふ三尺三寸のぬりぬけはゆすりあさふ  
ぬを七す周一丈二尺二寸のぬりぬけはゆすりあさふ八尺六寸のぬりぬけはゆすりあさふ  
〇四寸のぬりぬけはゆすりあさふ二尺二寸のぬりぬけはゆすりあさふ二尺二寸のぬりぬけはゆすりあさふ  
六尺三寸のぬりぬけはゆすりあさふ八尺六寸のぬりぬけはゆすりあさふ〇四寸のぬりぬけはゆすりあさふ  
割はゆすりあさふ七す三から一り三もぬりぬけはゆすりあさふ



四の内分母は五に益する内分母  
は二すみらの分母の益は二倍と内  
分の方の倍の倍とを同

答 輪徑一尺四寸八分ハリ

外周三寸七分六分ハリ

法曰二すみらと五を三すみの法一六八で  
割れば輪徑一尺四寸八分ハリ成り内周は二  
すみらの二倍分母は九寸八分ハリ

益は二すみらと五を三すみの法一六八で

九寸八分ハリ成り外周は二すみらと五を三すみの法一六八で

割れば輪徑一尺四寸八分ハリ成り内周は二すみらの二倍分母は九寸八分ハリ

法曰二すみらと五を三すみの法一六八で割れば輪徑一尺四寸八分ハリ成り内周は二すみらの二倍分母は九寸八分ハリ

法曰二すみらと五を三すみの法一六八で割れば輪徑一尺四寸八分ハリ成り内周は二すみらの二倍分母は九寸八分ハリ

法曰二すみらと五を三すみの法一六八で割れば輪徑一尺四寸八分ハリ成り内周は二すみらの二倍分母は九寸八分ハリ

法曰二すみらと五を三すみの法一六八で割れば輪徑一尺四寸八分ハリ成り内周は二すみらの二倍分母は九寸八分ハリ

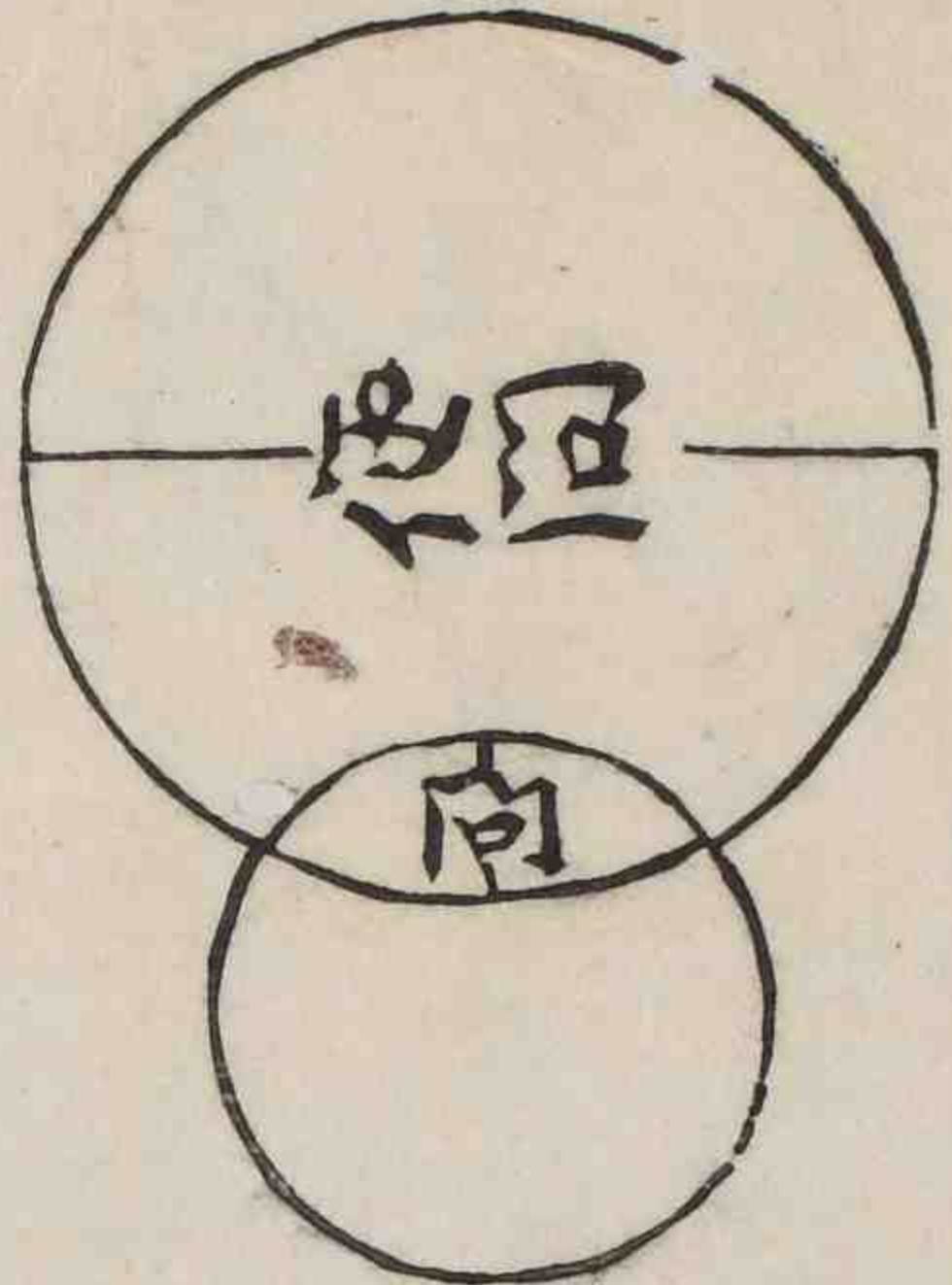
法曰二すみらと五を三すみの法一六八で割れば輪徑一尺四寸八分ハリ成り内周は二すみらの二倍分母は九寸八分ハリ

中

三



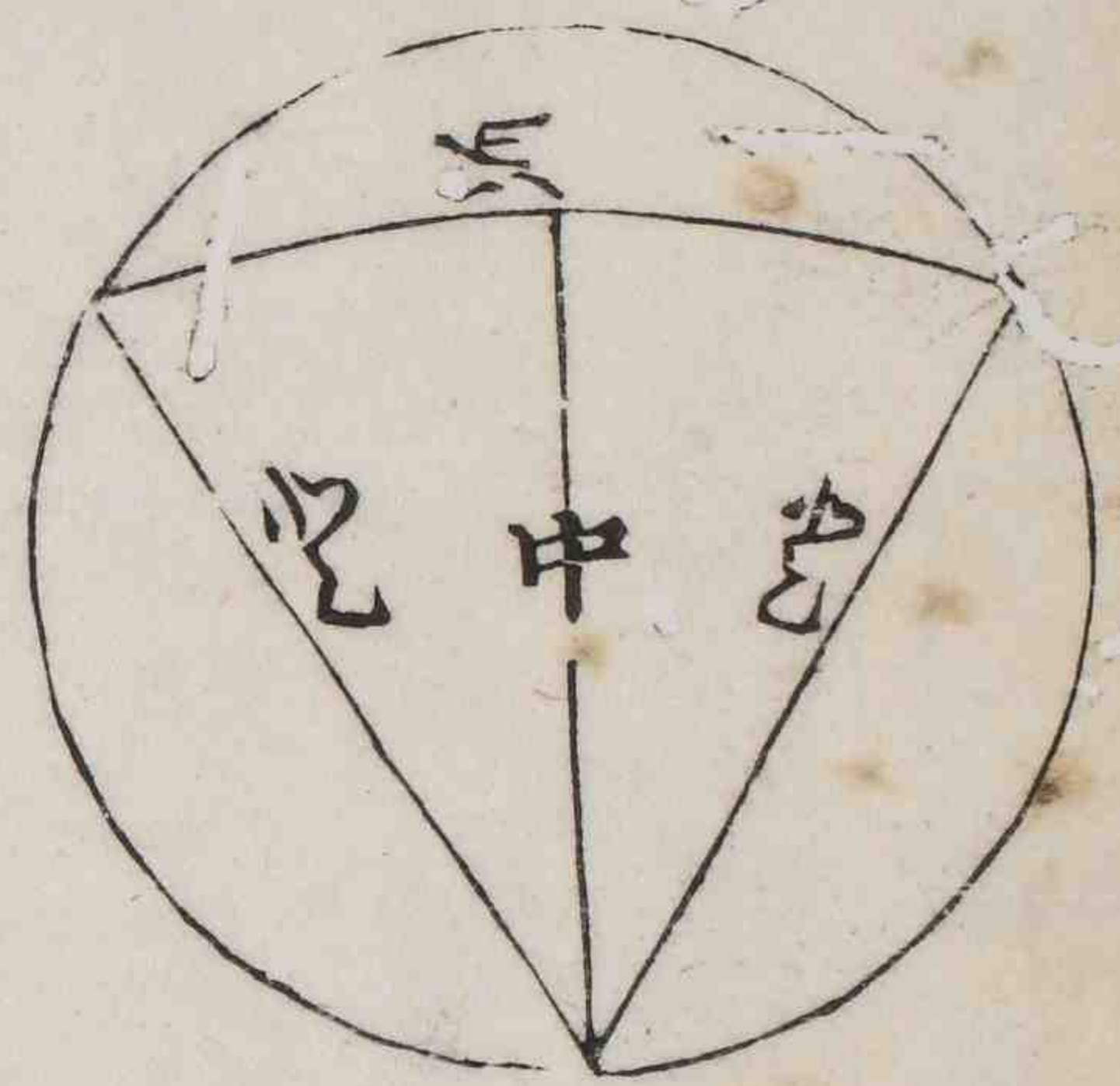
ては、極とちり右の八つ口は十九口と十五口を  
中みちけらわしてさむくは法とありと  
又月の法もせんとありよふけは口を月法  
三六にて割一口は八つ用あり



いね垂小極径一尺五寸流五  
寸五分大極流一尺二寸五分  
大極と極垂の矢を同

答曰 大輪徑六尺二寸二分七八

かうて割ち十三歩の九分八分は、さき小  
徑一尺五寸とありては、百廿八歩を  
加ては百八十八歩九分八分は、さきを同  
割一尺七寸五分内一尺五寸あり、さきと  
ちりさく徑一尺五寸の内、六寸四分は、  
一尺三寸五分は、さきとさくけ又さくは、さきの  
けて百口は、さきとさく大輪の流一尺、  
二分五分ありて、百口は、さきの六寸二分の内



府に於て東の派ハ十有九  
 也。中七者九なるを以て  
 け卯の流子に於て地氣  
 仕を括論。何れと同

美言曰。東派九十九有六分。又

法曰。派ハ十有九を以て六子四百歩  
 是より六子の別三子四百歩を以て九十九  
 歩を以て百八十九の歩を以て三子の

行派でハる六八を以て又百八十九の  
 行派七十一有二三ハ右のハる六八を以  
 て子四百八十七歩の〇〇七六を以て七十一有三  
 式のろちあり九十九を以て行派ハ十  
 一有三二を以て右の歩を以て四百八十七歩  
 〇〇七六を以て別は十八有二ハを以てハ十一  
 有三二を以て東派九十九有六分。又  
 とも知らる